

これからの季節は
特にご注意を

早めの避難が身を守る

6月は「土砂災害防止月間」です

土砂災害は降雨や地震により突然発生し、生命や財産を一瞬にして奪ってしまう非常に恐ろしい災害の一つです。近年は地球温暖化に伴う気候変動の影響により、熱帯低気圧の勢力が増したり、ゲリラ豪雨と呼ばれる局地的な大雨が多くなり、土砂災害への備えが一層重要になっています。また、梅雨入りや台風の襲来など、これからの季節はますます警戒が必要です。

国では今月を土砂災害防止月間と定め、市でも毎年、6月に土砂災害防災訓練を実施しています。もしもの時に安全が確保できるよう、平常時から対応などを再確認しましょう。

土砂災害には3つの種類

土砂災害とは、降雨などにより、山やがけが突然崩れることをいい、大きく3つの現象に分けることができます。

日本の国土は、傾斜が急な地形や流れの急な河川、雨の多い気候など、土砂災害が発生しやすい自然条件にありますので、特に注意が必要です。

◆土石流

山や谷の石・土砂が大雨によって水と一緒に becoming、激しい勢いで一気に下流へ流れ出します。

◆がけ崩れ

地中に染み込んだ雨などによって斜面の安定性が弱まり、さらに降った雨や地震の影響で突然斜面が崩れます。

◆地すべり

斜面の表土が地下水と重力の影響によって、広い範囲で動き出します。

こんな時は特に注意を 土砂災害の前兆現象

- ・急に川が濁る。
- ・山鳴りがする。
- ・がけに割れ目ができたり、小石などがパラパラと落ちてくる。
- ・地面がひび割れる。
- ・斜面から水が噴き出す。
- ・池や沼の水量が急変する。
- ・雨が降り続けているのに、川の水が減っている。

※普段と違う現象があった際は、特に注意しましょう。

注意すべき気象情報

◆大雨注意報

岐阜地方気象台が、大雨によって災害が起こる恐れがある場合に、市町村単位で発表します。

◆大雨警報

岐阜地方気象台が、大雨によって重大な災害が起こる恐れがある場合に、市町村単位で発表します。

◆土砂災害警戒情報

岐阜県と岐阜地方気象台が、大雨警報発表後、さらに土砂災害の危険性が高まった場合に、市町村単位で発表します。

※数十年に一度の危険な状態の場合は「特別警報」が発令されます。